競 技 注 意 事 項

１．本大会は、２０２６年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに競技注意事項により実施する。

① ウォーミングアップやダウンは、サブグラウンドを使用し、団体責任者及び保護者立ち合いのもと行う。室内練習場は、立入禁止とする。

② 招集所は１００ｍスタート地点スタンド後付近招集広場で行う。
＊プログラム記載の招集完了時刻までに必ず点呼を受けること。

③ 規格サイズ外、手書きのアスリートビブスは使用できない。
（規程規格サイズ 240×160）

④ トラック競技に出場する競技者の腰ナンバーは、招集場所での点呼時に受け取り各自で取り付ける**（小学校低学年は保護者等が手伝っても良い）**。返却は、ゴール後に自分で腰ナンバーを外し回収かごに入れる 。

⑤ 招集所での点呼後の競技者待機方法は、トラックは競技開始時刻の 10 分～15 分前までに出発地点に集合する。フィールドは練習時間等があるので招集完了後速やかに競技場所に集合し、審判の指示、出場確認を受ける。
※小学生については、係員が誘導する。

⑥ 競技終了後は、審判の指示により速やかに退場する。

⑦ 記録速報掲示はしません。沖縄陸上競技協会ホームページに掲載し、当日はＱＲコードを案内する。

⑧ ゴミは、全て持ち帰る。

⑨ 緊急または重要な連絡がある場合は、随時場内放送でアナウンスする。

⑩ 【重要】競技日程は、変更する場合がある。変更がないか大会当日に沖縄陸上競技協会ホームページで確認すること。

２．競技について

(1) 事故防止のため短距離走では、ゴール後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。

(2) トラック競技のスタート時、他の競技者の邪魔になるような発声をしてはならない。

(3) 欠場者のレーンはそのままあける 。

(4) 長距離種目で競技進行上大幅に遅れた選手は審判長の権限でレースを中止させることがある。

３．用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。

(2) 跳躍、投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。

４．競技用スパイクピン・シューズ底の厚さについて

（1）本競技場は全天候舗装であり、スパイクピンの長さは９ｍｍ以下とする。
走高跳・やり投は 12mm 以下とする。
（2）シューズ底の厚さについては、競技規則の競技用靴規程 TR5.2 を適用する。（砲丸投、円盤投、ハンマー投を除く）

５．その他

（1）団体での控え場所は芝スタンドとする。
（2）スタンド下通路及び雨天練習場付近の選手控場所設置は禁止する。
（3）競技場（練習場も含む）に商社名、商品名のついたものを持ち込むことはできない。詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」に準じる。
※広告規定に反する文字等は各自でテープを貼るなど露出しないようにすること。
（4）記録の証明を希望する競技者は、記録情報室に３００円を添えて申出をし、６０分後に受け取ること。
（5）抗議申立書は競技規則ＴＲ８（国内競技会）によって総務に提出する。
（6）競技場内での写真・撮影は、許可された報道カメラマンのみとする。
（7）競技会場内で撮影された競技写真及び動画の著作権については、大会主催者に帰属するものとする。ＳＮＳ等に無断で配信する行為は厳禁。法的に訴える場合もある。
（8）個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用しない。